

## 2024年度自然科学研究機構岡崎連携プラットフォーム「スピン生命科学コア」共同利用研究（Spin-L連携研究）公募要項

### 1. 公募事項

生命創成探究センターが、生理学研究所と分子科学研究所ともに岡崎連携プラットフォーム「スピン生命科学コア」において推進している共同利用研究の発展に資するため、「Spin-L連携研究」を2件公募する。Spin-L連携研究は、自然科学研究機構以外の研究機関に所属する研究者が、スピン生命科学コア内に研究グループを組織して実施するものであり、本公募では、（1）生きた細胞内におけるタンパク質等の生体高分子の構造動態と相互作用を観測する磁気共鳴手法を開発することを通じて、生体計測技術の高度化を目指す研究、および（2）生体内の標的部位への送達特異性や磁気共鳴信号の検出感度の向上を実現する分子プローブを開発することを通じて、磁気共鳴画像法の高度化を目指す研究を、各1件募集する。提案代表者は生命創成探究センターおよびスピン生命科学コアにおいて客員教授又は客員准教授となり研究課題を実施する。提案代表者をPI（Principal Investigator）として組織される研究グループは、スピン生命科学コア内外の複数の研究者と連携し、学際的な共同研究を推進することが強く期待される。研究の実施にあたっては生命創成探究センターおよびスピン生命科学コアの研究スペースを利用し、Spin-Lが雇用する年俸制の特任准教授または特任助教と協力して研究を実施する。

### 2. 研究期間

最長で研究開始日から令和11年3月31日まで。研究開始から2年経過後に中間評価を実施する場合がある。

### 3. 申請資格

大学又は公的研究機関に所属し、大学における准教授相当以上の常勤研究者又はセンター長がこれと同等の研究能力を有すると認める者（自然科学研究機構に所属する研究者は除く）。

### 4. 申請方法

所定の申込用紙をダウンロードし、PDFファイルにしたものを、「Spin-L 運営事務局宛」にメールで提出してください。（E-mail: [spinl-core@nips.ac.jp](mailto:spinl-core@nips.ac.jp)）ファイル名は「spinl\_姓（アルファベット表記）\_名（アルファベット表記）」としてください（例：spinl\_Okazaki\_Taro）。

- ・「スピン生命科学コア」共同利用研究（Spin-L連携研究）申込書 doc.

### 5. 申請期限

2024年12月2日（月）

### 6. 採否決定

本センターの運営委員会共同利用研究部会の議を経てセンター長が決定します。なお、審査にあたり、本センター運営委員会共同利用研究部会において申請者へのヒアリングを実施します。

### 7. 採否決定の時期

2025年1月頃

## 8. 研究費・旅費

予算の範囲内で研究費及び自然科学研究機構役職員旅費規程により旅費を支給します。

## 9. 放射線業務従事認定申請書の提出

放射性同位元素を使用される場合は、採択後、放射線業務従事者登録手続きが必要となります。

## 10. 遺伝子組換え実験

遺伝子組換え実験を伴う場合は、採択後、岡崎3機関の遺伝子組換え実験安全委員会の審査を経て承認が必要となります。

## 11. 動物実験

動物実験を伴う場合は、採択後、自然科学研究機構動物実験委員会の審査を経て機構長の承認が必要となります。

## 12. ヒト及びヒトから得られた標本を対象とする研究

各共同利用研究又は共同利用実験において、「ヒト及びヒトから得られた標本を対象とする研究」を伴う場合、予め所属機関の倫理委員会での承認が必要です。所属機関に倫理委員会がない場合、所属機関長からの倫理上問題ない旨の確認書が必要となります。また、採択後、自然科学研究機構生命倫理審査委員会の審査を経て承認が必要となります。加えて、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づく臨床研究に該当する研究課題については、事前に本センター内研究者にご相談ください。

## 13. ヒトゲノム・遺伝子解析研究

「ヒトゲノム・遺伝子解析研究」を伴う場合は、採択後、自然科学研究機構生命倫理審査委員会の審査を経て承認が必要となります。

## 14. 研究報告書の提出

毎年度終了後、すみやかに提案代表者から研究報告書を生命創成探究センター長及びスピン生命科学コア長へ提出していただきます。この研究報告書は生命創成探究センター及びSpin-Lの発行する印刷物やホームページ等に掲載される場合があります。

## 15. 研究成果の明示

本共同利用研究で得られた成果を論文にされる場合は、Spin-Lの共同利用・共同研究として行われたことを明示してください。

### ※記入例

（和文）本研究は、文部科学省共同利用・共同研究システム形成事業～学際領域展開ハブ形成プログラム～（分子・生命・生理科学が融合した次世代新分野創成のためのスピン生命フロンティアハブの創設）JPMXP1323015488（課題番号: \*\*\*）の助成を受けたものです。

（英文）This work was supported by MEXT Promotion of Development of a Joint Usage/Research System Project: Coalition of Universities for Research Excellence Program

**(CURE) Grant Number JPMXP1323015488 (Spin-L program No, \*\*\*)**

課題番号「\*\*\*」は採択通知に記載します。

16. 知的財産権の取扱いについて

自然科学研究機構職務発明等規程（平成16年自機規程第12号）に定めるところによる。（※共同利用研究に採択された場合、提案代表者及び共同利用研究者は「共同利用研究員」という身分で採択課題に関する研究を実施することとなり、上記の規程における役職員に準じた取扱いとなります。（具体的な内容については個別にお問い合わせください。）

17. 宿泊施設

共同利用研究者宿泊施設があり、利用できます。なお、宿泊を希望される方は、生命創成探究センター内の研究者に希望日を連絡していただければ手続きします。

18. 育児支援について

空きがある場合に事業所内保育施設を利用できます。（利用希望日の6週間前を目安に下記までお問い合わせください。）自然科学研究機構岡崎統合事務センター総務課 総務係 電話 55-7112（ダイヤルイン）

19. 男女共同参画の推進

自然科学研究機構では男女共同参画を推進しています。共同利用研究の立案・実施にあたりご配慮をお願いします。

20. 個人情報について

公募により提供された個人情報は、課題審査を目的としてのみ利用します。また、採択された課題については、広報用印刷物及びホームページ等に提案代表者 氏名、所属、研究課題名等を掲載する場合がありますので、ご承知おき願います。

21. 相談窓口

「スピン生命科学コア」共同利用研究（Spin-L 連携研究）に関して、不明な点や確認したい事項がありましたら、下記の相談窓口までお気軽にお問い合わせください。

〈相談窓口〉 Spin-L 運営事務局 E-mail: [spinl-core@nips.ac.jp](mailto:spinl-core@nips.ac.jp)

---

《所在地》

山手キャンパス：〒444-8787 愛知県岡崎市明大寺町字東山 5-1

《交通機関》 東京方面から 新幹線：豊橋下車 名鉄本線：豊橋→東岡崎（所要時間 特急20分） 大阪方面から 新幹線及び近鉄線：名古屋下車 名鉄本線：名鉄名古屋→東岡崎（所要時間 特急30分） 名鉄東岡崎駅南口より、竜美ヶ丘循環バス乗車、竜美北（3つ目）下車。徒歩3分。東岡崎から徒歩20分。詳しくは、生命創成探究センターHP (<http://www.excells.orion.ac.jp/>)を御参照ください。